



平成29年11月1日現在  
 総世帯数 7,495世帯  
 総人口 16,921人  
 男 8,437人  
 女 8,484人

10月8日(日)、松本市総合体育館を主会場に第60回松本市市民体育大会が開催され、芳川地区は見事総合優勝を飾り、三連覇を達成しました。

競技別では、軟式野球とソフトバレーボール40歳以上の部で優勝を飾るほか各競技で上位入賞を果たしました。最終成績では、2位の里山辺を3点差で振り切り、過去2度挑戦し、なしえなかった三連覇という快挙を成し遂げることができました。

第60回松本市市民体育大会秋季大会

総合三連覇達成!!

3  
連覇



報告編



芳川サタデードリームコンサート



「手を広げ  
笑顔でつなぐ  
文化祭」

11月4・5日

芳川地区文化祭が  
開催されました。



芳川小学校で行われた「芳川サタデードリームコンサート」は、小中学校の児童・生徒の合唱・演奏、コーラスグループの発表を楽しみました。

芳川公民館大会議室での劇団であい舎の公演が行われたほか、芳川体育館ではステージ発表や書や生け花、陶芸など多くの展示・体験コーナー、体力年齢のチェックや健康パネル展などが行われました。

京押絵の体験コーナーでは、来年の干支「戌」のミニ羽子板の制作が女性に人気でした。

日赤奉仕団のどん汁、芳川小学校5年生による芳川米、芳川農村女性委員会の自家製おこわの販売、男厨会特製カレー・芳川保育ゆりかご会によるバルーンアート・わた飴の配布があり、最後は「お楽しみ抽選会」と、多くのみなさんが芳川地区文化祭を楽しみました。

# 第6回芳川地区総合防災訓練

9月24日(日)、夏を思わせる暑さの中、地区を挙げての総合防災訓練が行われました。今回は新たに煙道体験訓練を実施し、また中学生は、非常用給水袋を使つての応急給水訓練を行うなど、



例年のプログラムとは若干異なつた訓練を行いました。参加者は620名と、前回にも増して多くの皆さんが集まり、また積極的に各種訓練に参加し、最後は集団消火訓練というところで息の合った様子でパケツリレーを行い、全体訓練を終りました。この訓練を通じ地域の絆も深まったものと思います。



## 芳川地区市政懇談会 34年には村井駅が生まれ変わります。

芳川地区市政懇談会が9月26日(火)開催され、市側からは、菅谷市長、坪田副市長はじめ関係部課長が出席し、芳川地区からは、80人を超える皆さんが参加しました。

芳川での開催は、26年以來、3年ぶりで、菅谷市長の施政方針等の説明に続き、「村井駅駅舎の改築と周辺整備」、「松本市のまちづくり構想における南部地区に係る取組」の2点について懇談が行われました。その中で、村井駅については5年後の平成34年の完成を目指して、バリアフリー化(エレベーターの設置)、西口の新設と東西自由通路を備えた駅舎の整備事業に取り組むこと、芳川出張所については、南部地区の拠点として他地区からの利用者も多いことから職員増員を検討中との回答がありました。



## 芳川ふれあいウォーキング



10月21日(土)、芳川ふれあいウォーキングは朝から雨降りのため会場を芳川体育館に変更して行われました。開会式、主催者挨拶の後、参加者・スタッフを含め70名余が体力づくりサポーターに合い、声を出し笑顔で数えながらストレッチ、ラジオ体操を行いました。その後の面白ウォーキングでは、3歩目に大股で歩く、3歩目に片足を上げ3つ数える等普段とは異なる歩きを行いました。講師からは、意識して体を動かす、胸を開く、肩甲骨を寄せる等が重要と言われました。毎年参加している方は、今日は雨降りで残念と言っていました。最後はつらつと行い終了後は参加賞を受け取り11時前に終了しました。

## 絆を深める芳川っ子 仲良く楽しく元気よく VS芳川マツチ



10月15日(日)に、今年で3回目となる「VS芳川マツチ」が南部屋内運動場で行われました。小学生とスタッフを合わせて200人以上が集まり、楽しく遊びました。地区内から通う芳川・開明・才教学園・信大付属小の4小学校に芳川地域づくり協議会が呼びかけて始まったレクレーション大会であり、筑摩野中学校の生徒にもスタッフとして、司会進行や誘導などを手伝ってもらいました。準備体操のあとにじゃんけん列車やしっぽを行い、参加者全員が絆を深めあった一日となりました。

## たちばなし

今年には想定外の事が多くあった。大雨、地震、台風、更には核の脅威など不安な事ばかりだ。年老いて思わぬことが続いたせいだろうか、すっかり気持ちが悪く落ち込み、ひと月あまりの間に体重も大きく落ちてしまった。夏も過ぎる頃ようやく心も落ち着き、あらためて庭を眺めてみると、長雨にも負けず好物の無花果が吃驚するほど実つていた。ところが鳥たちは赤く熟れる頃を良く知っていて誰より先に食べてしまう。追い切れず鳥避けネットを掛けた。小さな畑のトマトも今年にはあまり熟れず残念だったが、ろくに手入れもしなかった赤紫の朝顔のなかに、思いがけず青花を見つけて驚く。5、6年も前に植えたままの花だったのにと嬉しくなる。こんな小さな出来事にも自然の豊かさを感じ、なによりも心身ともに健やかであることの大切さを痛感する。本当に誰もが健康で穏やかに日々を過ごせる世の中であって欲しいと切に願う。澄んだ青空にはトンボが舞う。季節はもう秋だ。